

地域白書【高浜町】（地域アセスメントシート）

1. 地域の概要

面積	人口（人）	世帯数	自治会加入率	自治会数
	4,268	2,002		
地域内の町名（自治会）				
交通機関				

2. 地域の社会資源等

会館・公園・広場・施設		名所・旧跡、寺社仏閣
高浜公園（高層下の公園）、高浜緑地、住宅棟前公園たくさん		お地藏さん、
社会資源	公的機関	芦屋市消防署高浜分署、高浜交番所、ATM、郵便局、
	高齢者生活支援センター	（新浜ローソン）
	医療機関	芦屋浜医療センター、林整形外科外科医院、矢野眼科医院、山本耳鼻咽喉科医院、鈴木小児科、上條医院、渡辺内科クリニック、調剤薬局、芦屋浜歯科クリニック、
	福祉	ゆいフィットネスサービス
	教育機関	浜風小学校、国際高校、中等教育学校、
	NPO 活動団体	

3. 地域紹介

キャッチコピー

宮川に野鳥が多く飛来し、居住している。小さぎ、大きぎ（青さぎ）、カモメ、アジサシ、シキ、千鳥、カモ（平ガモ、本ガモ、ヒドリガモ等）宮川に魚が群れていて楽しい。

楽しい街である。面白い街である。四季折々の自然が楽しめる。さくらんぼ、山ぐみ、山もも、びわ等々次々実をつける。その他ゆすらんめ。

住みやすい、学校近い、子どもにやさしい。

お年寄り～子ども（赤ちゃんまで）住み良い町、安全な町、

地域の歴史

建築後、37年がすぎ、マンションの痛みが激しくなっている。

39年前にできた埋立地

シーサイドが出来、住民が住むようになって39年になります。くらし良い町です。

地域の特色

医療機関、スーパー、交番・郵便局、交通にも便利

公園と誰もが安心して散歩できる。

安全、安心、生活するには良い町です。

地域内のお祭り・おもな行事

もちつき大会（もち回りで、年末）、

子どもフェスタ、健康フェスタ（連携で）

12月の子ども行事、餅つき大会、夜まわり。

五月フェスタ、七夕まつり、じぞうフェスタ、

年末パトロール、

夏まつり、

地域内の企業・店舗・商店街

グルメシティ芦屋浜店

ケアローソン新浜町、

ツルハ浜風、セブンイレブン

郵便局、ATM

クリーニング、美容室、日中一時支援事業、

理容店、美容室、ヤマト、動物病院、

4. 地域活動

地域自慢（地域全体）	まちづくり自慢（組織づくりや活動など）
<ul style="list-style-type: none"> ・パイプラインがある。 ・高浜、浜風で細くしています。 ・バス停が近い（もより駅に出やすい）。 ・買物がしやすい（食料他）。 ・緑が多い。めずらしい鳥など。 ・イベントなどで昔ながらまとまっているかな。 ・ダイエーが近い。ダイエーに近い。 ・芦屋浜営業所バス営業所。 ・バス始発駅から二つ目。 ・ニュータウンとして町びらき 35 年、その間移住してきた人が住み続けている方が多い。 ・子どもは同地域で移動している。一方出ている子ども世代も。 ・町内で高齢化しても移動してる。 ・外に出ていけない。 ・スーパーが近い。 ・自然に恵まれている。 ・小学校が大切な役割をしている。 ・散歩がしやすい。 ・公園の中にあるような住居（マンション）なので、住み心地がよい。 ・小学校、公園にも近い。 ・宮川には野鳥が飛来するのがいい。魚も多く見るだけで楽しい所である。 ・自治会活動が活発。住民が集う催しが多いため高齢者の外出促進となっている。 ・便利。 ・40 年前より高層地区。 ・バスの基点（かならず座れる）。 ・高低が少ない。歩車分離している。 ・四季を感じる。 ・自治会の団結力が大である。 ・イベントが多い。 ・子どもを大切にする地域。 ・四季を感じる事が出来る町。 ・子どもたちを大切にするイベントが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動が活発である。 ・浜風地域で年間やっています。 ・車道と歩道がわかれているので安心、安全。 ・小学校、中学校が近い。 ・夏まつり、健康フェスタ、桜まつり、地藏盆など高齢者から子どもまでのイベント。 ・芦屋浜は、一つこころ合わせて街づくりのローガンの元、各自治会などが活動している自治連合会へ集結していることが大きい。 ・又、各自治会も意欲的な所とそうでない所の差は大きい。 ・個人的にイベントに参加する人も多い。 ・人が温かく活動しやすい。 ・PR がやりやすく伝わりやすい。 ・我が第一住宅（芦屋浜）は、組合（物に対する対処）と自治会（住民の和を計る組織）の 2 本立てになっております。 ・年間行事を三世代交流の場として利用。伝統的行事を含む。 ・花をきれいに植えている好きな人が積極的に参加している。 ・もちつき大会（1984 年～最初から） ・自治会活動が活発。 ・合同で行う行事多い。もちつき、五月フェスタ、じぞうフェスタ、 ・第 2 集会所（交流拠点） ・イベント ・緑の手入れ ・掃除 ・参加型のイベントが多い。

地域イチオシ！の活動や取り組み

- ・福祉もちつき大会（38年継続中、1984年のアフリカ難民）
- ・年末の夜回り（12月25日～12月29日）
- ・地域で毎回しているので、すべてがイチオシです。
- ・車道と歩道がわかれているので散歩しやすい。
- ・四季が楽しめる。
- ・ゴミの処分がすぐできる。
- ・少人数ながらまたあしたひろば（室内版子ども公園）。
- ・数か月毎にイベントがある。
- ・地区福祉委員会の活動（つどい、生きがいデイ）。
- ・年末警戒。
- ・孤独死に対する予防（取り組み）をどうするか。
- ・（芦屋浜）高浜町主催のもちつき。
- ・花をきれいに植えている。
- ・第2集会所（交流拠点、つどい）・第2集会所での集まりなど
- ・年末の火の用心（子ども達と）
- ・第2集会所の活用
- ・散歩がしやすい。

地域内のHOTな動き

- ・「またあした広場」子どもの小さい世帯が興味を示している。
- ・防災の備えをどうするかも大きな課題となっている。
- ・リニューアルされた集会所での乳幼児の集まる場所づくり、若い母親からの要望もあり発展していく可能性がある。
- ・先週2mくらいの長さ、30cmくらいの幅の金属板が17Fより落下。落下事故に対する意識高まっている。
- ・第2集会所、交流拠点づくり
- ・家庭訪問（一人住まいの方達）

HOTな動きと地域をつなぐには

- ・イベント、夏まつりなど・・・参加する。
- ・人材発掘（リーダーや協力者）
- ・情報の共有方法。
- ・高浜町、全体にどう拡大するか。
- ・各自、理解していただき、参加していただく。

気になるところ	どうしてそうなるのか（原因）
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員としてセキュリティのあるマンション、独居老人宅等訪問しにくい ・外国人の方の生活が分かりにくい ・転入してきた家族へのアプローチ（子ども等） ・スタッフがいつも同じ ・高齢化 ・高齢者への対応 ・後継者が育っていない ・子どもへの対応 ・入居者の減少 ・外国籍の方の生活状況 ・防災備品が備置されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い他、隣近所とは距離を置いて生活している ・戸建てでないので顔が見えない ・顔見知りになるノウハウがこちらにない ・町の魅力がない ・新入居の独居老人が増加 ・関心がない ・新入居から数年で退去になる ・生活上の不便さ
今後の課題	解決に向けての具体的な手法
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長さんや各マンションの世話役的な人と交流を持つ ・関係機関と普段から交流を持つ ・次世代、掘り起し ・高齢者の把握 ・自治会の運営方法（任期が1年で交代） ・地域住民同士の関係作り、親睦 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと気軽に入出入りできる場面、場所を作る ・緊急連絡先の把握 ・回覧板 ・世代間での交流（老人会、子ども会での企画）